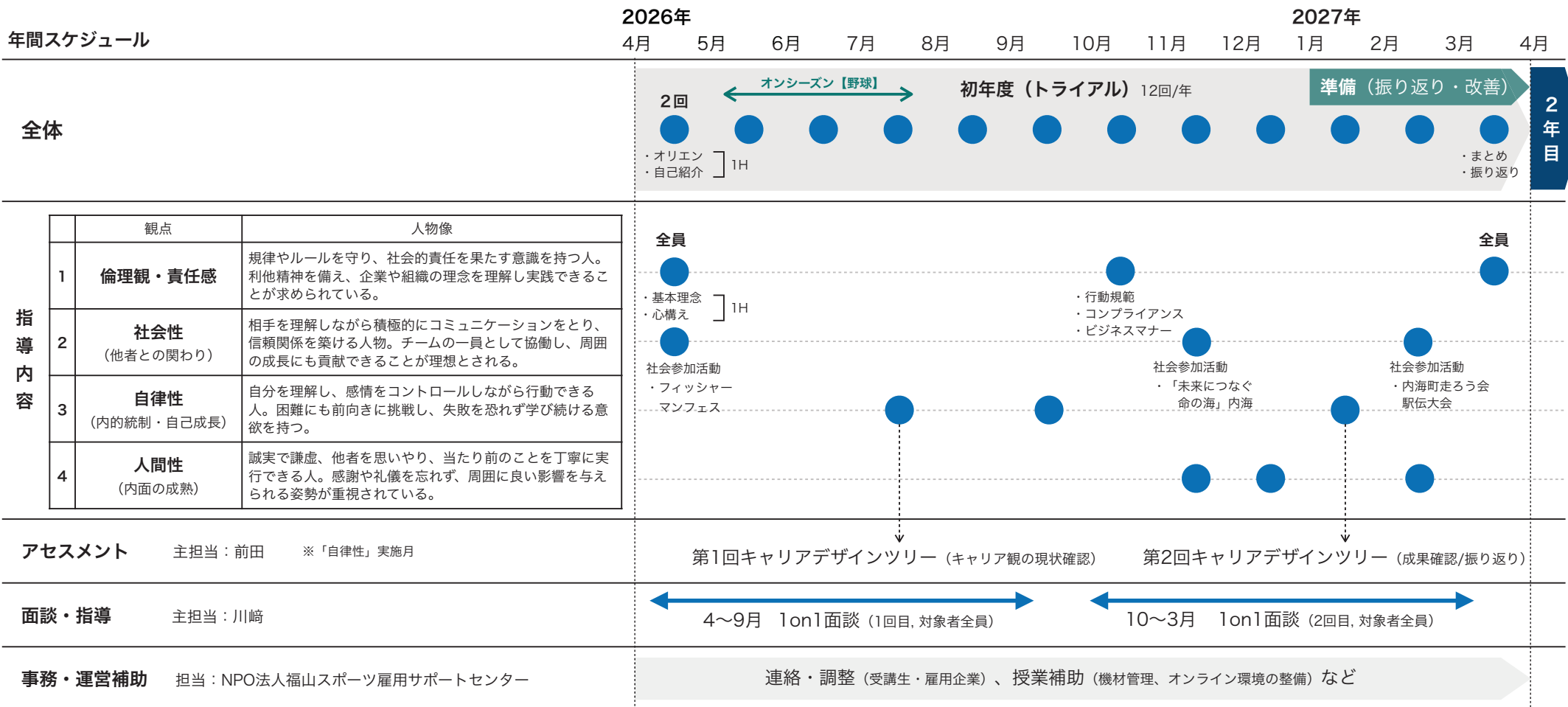


# グローバル人材育成プロジェクト

～ 育成のまち福山の実現に向けて ～

## 内海育成塾 2026年度実施計画

本塾は、若者の地元定着や地元企業の求める人材の育成に向けて、スポーツを通じて人間育成ができる環境づくりに取り組むものです。「働くこと」「スポーツ活動」「地域社会への関わり・貢献」を両立するため、企業アンケートによる「アスリート人材に求める人物像」等を基に、人間性やキャリアに関する講義を行います。2026年度は、福山スポーツ雇用サポートセンター雇用選手を対象とした初年度（トライアル）として原則月1回（120分/1回）、年12回のプログラムを計画しています。講義とグループワーク、1on1面談、独自のキャリア支援手法（キャリアデザインツリー等）を組み合わせ、雇用企業が求める「①倫理観・責任感②社会性③自律性④人間性」の4領域を中心とした資質・能力育成を重視し、企業定着率の向上に加え、地域に愛され、地域で活躍するスポーツ人材の持続的な成長を促します。本塾の受講対象については、選手を雇用する企業の採用3年目以内の従業員へ、福山市を中心とする備後圏域内の企業の従業員へと段階的に広げ、受講者に合わせたカリキュラムの開発を行います。



**講師** 川崎契 (元広島県警総務部長・警視長)、前田吉広 (ノートプロジェクト代表・国家資格 キャリアコンサルタント・筑波大学卒) 他

## 事業計画書

1 事業の名称	内海育成塾
2 事業の内容	<p>・若者の地元定着や地元企業の求める人材の育成に向けて、スポーツを通じて人間育成ができる環境づくりを行う。</p> <p>・「働くこと」「スポーツ活動」「地域社会への関わり・貢献」を両立するため、企業アンケートによる「アスリート人材に求める人物像」等を基に、人間性やキャリアに関する講義、グループワーク、1 on 1 面談、独自のキャリア支援手法（キャリアデザインツリー等）を組み合わせた内容とする。</p>
3 事業実施による公益的な効果	<p>・育成塾を通じて、企業の求める人材を育成し、地域雇用の持続性に寄与する。</p> <p>・労働とスポーツが両立できる企業風土を育み、企業の多様な働き方を促進することで、スポーツキャリア引退後や新採用3年以内の離職率に寄与する。</p> <p>・地元への理解や愛着を深めることにより、若者流出減少に寄与する。</p>
4 対象者、人数、規模等	<p>・福山を中心とした備後圏域の方々に、内海育成塾をご利用いただく。</p> <p>・まずは、ローズファイターズ・福山ローズフットボールクラブの選手を対象とし、利用月40～45名程度。</p> <p>・一般向けカリキュラムとして、年度内には選手を雇用する企業の採用3年以内の従業員を対象とした育成塾へと広げる。</p>
5 スケジュールと内容	<p>【内海育成塾】2026年4月～2027年3月</p> <p>【1on1面談】年2回（上半期・下半期）</p> <p>【一般向けカリキュラム】2026年10月以降</p>
6 翌年度以降の事業計画	<p>○企業の対象拡大</p> <p>・採用3年目までの職員向けカリキュラムの展開</p> <p>○青少年向けの対象拡大</p> <p>・U-23 設置予定</p> <p>・備後野球アカデミーのプログラム充実</p>